

「第3期恵庭市観光振興計画(案)」のパブリックコメントの意見募集結果及び意見に対する市の考え方について

1. 募集期間 令和7年11月5日(水)～12月4日(木)

2. 意見総数

持参	郵送	ファクス	電子申請	電子メール	意見箱	合計
0	1	0	1	0	0	2

3. 寄せられた意見(抜粋)

寄せられたご意見に対する考え方を以下のとおり説明いたします。

また、寄せられたご意見については、個人を特定する箇所やご意見以外の記述を除き、可能な限り原文のとおり掲載しております。

番号	寄せられた意見の概要	ご意見に対する恵庭市の考え方
1	以前札幌に住んでいました。恵庭に住んでから札幌と一番違うと感じたところは夜の暗さです。札幌は住宅街の中でも遠くの人影が見えていましたが、恵庭は足元も見えないほど暗いところが多くあります。夜に散歩も気軽に出来ないと感じています。札幌とは街灯の数が違うのか、明るさが違うのか、色が違うのかはわかりませんが、恵庭市全体の街灯の改善をお願いしたいです。観光地を増やすのも大事ですが、また来たいと思える綺麗な明るい安心できる街を作るのも大事だと思います。	夜間の安全確保や「綺麗で明るい安心できるまち」の実現は、観光客の方だけでなく、市民の皆様にとっても大変重要な視点であると認識しております。ご指摘の街灯の設置状況や明るさなどにつきましては、この計画(観光振興計画)ではなく、観光とは別の部署が担当している分野となります。市民の皆様の安全・安心に関わる大切なご意見であることから、担当部署と情報を共有し、今後の検討の参考とさせていただきます。一方で、本計画におきましても、「また来たい・住み続けたい」と感じていただけるまちづくりを目指し、夜間の飲食・食文化体験などのナイトタイム観光コンテンツの充実を図ることで、夜のまちの賑わいや明るさの向上に努めてまいります。
2	(1)第3章2の「恵庭観光が目指す将来像」で、花を暮らす、自然を暮らすなどの所ですが、日本語的には合っていると思いますが、「を」の後ろに「、」を設けた方が理解しやすいと思います。(例「そうだ、京都行こう。」)	(1)日本語表現の観点から大変丁寧なご指摘をいただき、ありがとうございます。ご指摘の箇所につきましては、恵庭観光が目指す将来像として、「花を暮らすように楽しむ」「自然を暮らすように味わう」「スポーツを暮らすように体感する」

	<p>という三つのイメージを、いずれも「暮らすように」という言葉で統一して表現したものです。ご提案いただいたとおり、「を」の後に「、」を入れることで、読みやすさが高まる面もあると認識しておりますが、将来像のキャッチフレーズとして、全体の語感やリズムを重視していることから、本計画では現行の表記（「花を暮らす」「自然を暮らす」等）を用いることとさせていただきます。いただいたご意見につきましては、今後の表現や表記の在り方を検討するうえでの参考とさせていただきます。</p> <p>(2)日本の四季の魅力を活かすことが、観光客の増加につながるとのご提案をいただき、ありがとうございます。本市におきましても、春の花や新緑、夏のアートドアクティビティ、秋の紅葉、冬の雪景色など、季節ごとに異なる自然の魅力があると認識しております。こうした四季折々の特色を活かした観光コンテンツを充実させていくことは、恵庭市ならではの魅力向上につながる大切な視点であると考えております。本計画におきましては、民間事業者や地域団体等とも連携しながら、四季の変化を楽しんでいただける体験型の観光コンテンツが広がっていくよう、取組を進めてまいります。</p> <p>(3)観光客の受入にあたって、二次交通の課題を踏まえつつ、ツアーなどの形で効率的に集客してはどうかというご提案をいただき、ありがとうございます。本市における団体ツアーなどの受入につきましては、ご指摘のとおり有効な手段の一つであると認識しておりますが、一方で、現在の本市では、宿泊施設の数や規模、大人数を同時に受け入れ可能な飲食店が限られていることなど、受入体制の面での課題もあると考えております。そのため、本計画では、まずは団体客の受入が可能な施設や飲食店などの情報を整理・集約し、どのような規模・ニーズの団体であれば受入が可能かを整理したうえで、ターゲットに応じた情報発信や商</p>
--	--

	<p>品造成につなげていけるような仕組みづくりに取り組んでまいります。こうした取組を進める中で、二次交通の状況も踏まえながら、ツアーを含めた多様な受入のあり方について検討を進めてまいります。</p> <p>(4)エコバス(えにわコミュニティバス)の情報提供の分かりにくさや、目的地を入力しても検索に反映されにくい点について、実際の検索例を挙げてご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。ご指摘の「デマンドバス」は、一般に、時刻表や路線を固定せず、予約(需要=デマンド)に応じて運行する方式を指しますが、本市の「エコバス」は、あらかじめ定められた時刻表とルートに沿って運行している、従来型の路線バスです。そのため、地域の皆様の日常の移動手段としては一定の役割を果たしている一方で、観光客の方にとっては、路線や利用方法が分かりにくく、使いづらい面があることも認識しております。本計画(観光振興計画)は、主として観光客の移動手段、いわば「観光の足」の充実に焦点を当てたものであり、地域住民の日常の移動を支える地域交通全般については、観光とは別の部署が中心となって検討・運営している分野となります。そのうえで、観光施策としては、観光客の方が目的地までスムーズに移動できるようにすることが重要であることから、地域交通を担当している部署とも連携しながら、観光客にも分かりやすい形で交通情報を伝えできるよう工夫を進めていくとともに、既存のバス路線等も含めて観光利用のしやすい二次交通の在り方について、関係機関と意見交換を行いながら検討を進めてまいります。いただいたご意見は、観光客にとって利便性の高い二次交通の充実に向けて検討を行ううえでの貴重な視点として、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
--	---